



12月

国安っ子

学校だより

令和7年度 12月号

西条市立国安小学校

【学校の教育目標】 仲よく、強く、明るい 国安っ子の育成

R7.11.28



実りの秋、耕す国安っ子！

校長 黒河 典子

季節は移ろい、収穫を終えた田んぼは、やがて来る次の収穫に備えるため深く耕されて、今静かに冬を迎えようとしています。この時期、昔の人は、牛を使って大きく深く鋤(す)き起こしたと聞きます。それは、深く耕し、地中の奥まで空気を送り、太陽の光を送るためです。耕し、光を取り入れることが地味を肥やしていきます。そのことが、次の収穫を豊かなものにする力となるのです。

この秋、国安小学校では、「感動の学習発表会」を実施することができました。響き渡り、心震わす国安っ子の「声の力」。心と力を一つにして創り上げた「世界に一つしかない」見事な演奏。他所から参った私にとっては、正に「Culture shock (カルチャーショック)」、驚嘆の連続でした。本校に息づく「文化」「伝統」と呼べるこの力の何と大きく、すばらしいことか…と。

「Culture (文化)」という言葉は「耕す」という意味の「Cultivate」からきていていると言われています。10月半ばに入り、子どもたちと先生たちは、発表会の練習・準備に没頭しました。この熱の入った取組が、自らを「耕す」ということにつながっています。1年生から6年生まで、それぞれの立場で、いろいろな工夫をしながら熱中した過程こそが「人そのものをつくる」大切な場であったと思います。失敗やうまくいかないことも少なくありませんでした。しかし、そのたびによく考え、我慢し、素直な心でこつこつ努力しました、自分たちのめあてを胸に。ですから、これまで学んだことを生き生きと、一生懸命に表現している姿に、胸がじんと熱くなりました。演じ終わった姿には、安堵感と成就感が見て取れました。それは、また一回り伸びた国安っ子の姿そのものでした。

この秋、学習発表会の練習や準備、本番の活動を通して、新鮮な空気や光を体中に吸い込み、協力や支え合いによって深く耕すことができた子どもたちは、やがてすばらしい花を咲かせてくれるものと思っています。「実りの秋」を経て、一人一人が伸びた面を自覚し、自信にして、これまでに蓄えた力を見事に開かせてくれるよう、今後の精進に期待しています。



校内持久走大会を予定しています。

低学年 9:30～9:55 出走順 (1・2年男子→1・2年女子)

中学年 9:55～10:25 出走順 (3・4年男子→3・4年女子)

高学年 10:25～10:55 出走順 (5・6年男子→5・6年女子)



保護者の皆様の観覧場所は、運動場内には、観覧エリア(体育館前砂場付近)を設けます。体育館前(アスファルト部分)やゴール付近は児童の走路や待機場所となっています。ご観覧の際には立ち入らないようお願いいたします。

大会が延期になった場合は、当日の8時までにマチコミメールでお知らせいたします。電話でのお問合せはご遠慮ください。



2学期は希望者の懇談会です。



12月18日(木)、19日(金)の13:30～16:30で行います。

特別支援学級在籍、通級指導教室を利用している児童の保護者様は、指導計画についての相談等がありますので、ご印鑑をご持参の上、必ずご参加ください。

